

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市若林区文化センター
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 61,508人 (前年度比84.7%) 平成29年度 72,622人 平成28年度 84,280人 平成27年度 86,468人
		《事業》 【通常事業】 施設 (ホール, 展示ホール, リハーサル室, スタジオ, 第1・2練習室等) の使用許可 【自主事業】 地域コミュニティと連携した催事の実施 施設の特長 (旧レストラン等スペース) を活かした市民文化の向上
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 145,957千円 (142,665千円) ・ その他市が負担した費用 79,312千円 (22,341千円) 《収入》 ・ 使用料収入 23,019千円 (27,213千円) ・ その他収入 1,696千円 (1,824千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケートの実施 (平成30年12月6日から平成30年12月23日まで) ・ 「お客様のお声カード」の設置 (通年) ・ 利用者会議の実施 (平成30年12月)

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	条例等に基づき、利用者には公正・公平な施設の貸出を行うよう努めている。 地域住民や地域団体による自主的な文化活動に対して、場の提供や活動の支援を行っている。	24/24
II	施設の運営管理体制	仕様書の定めにより開館している。 情報システムに関するセキュリティ対策については、パソコンにワイヤーロックをするなど、物理的なセキュリティ対策を講じている。個人情報保護については、定例の打合せ、会議等で適切な管理を行う上での必要事項を周知している。 事故・災害発生時の対応体制については、併設機関と合同で避難訓練を実施する等、災害発生時の対応体制を確立している。	30/30
III	施設・設備の維持管理	維持管理については、日常の自主点検に力を入れており、小規模な不具合は、修繕を行っている。施設の運用瑕疵による事故等は発生していない。 環境への配慮としては、間引照明や節水、ごみ減量・分別の呼びかけを行うなど、仙台市環境行動計画に則った取組みを行っている。また、「エコにこマイスター」の認定を継続して取得するなど、環境活動に努めている。	24/24
IV	サービスの質の向上	職員の名札着用及び服装は適切であり、利用者に対する職員の接客マナーは良好である。 施設で実施した利用者アンケートにおいては「お客様と職員はうまくコミュニケーションをとれているか」の項目に、9割近くが「とれている」との回答を得ており、利用者に対する円滑な応対が図られている。 また、利用促進の取組みとして、附帯設備を活用したステージプランを提供し、新たな利用者獲得への促進に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	併設機関との連絡会議を毎月開催し、それぞれの事業に関する情報交換や共通課題の確認を行うなど、併設機関と連携した施設管理がなされている。 催事に相当数の来場者が見込まれる場合には、近隣の迷惑駐車を防ぐため、区役所駐車場を借り受け、適切な施設運営を行っている。	4/4

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（(公財)仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》	
<p>施設及び設備等の維持管理については、善良なる管理者としての注意義務を全うすると共に、施設及び設備等の保守点検や小破修繕を行い、良好な維持管理に努めました。また、設備等の老朽化や経年劣化による不具合が多くなっていますが、貴市への現状報告及び対応策の協議など、適切な施設の維持管理に努めました。</p> <p>防災・危機管理については7つの併設機関と連携、協力し「共同防火管理協議会」を設置して、災害時の通報連絡や初期消火、避難誘導等を相互に連携して適切に対処できるよう訓練を行いました。また、AEDの操作方法や心肺蘇生方法等の救急救命講習を行い、有事にお客様の安全が確保できるよう備えました。定期的な「安全パトロール」も実施し、事故発生未然防止に努めました。</p> <p>利用者増進への取組みについては、わかりやすい施設案内・施設利用を目指し、ホームページを通じての催事案内や施設概要、自主事業の紹介、図面などを活用したパンフレットの配布、また、初めてホールを利用するお客様に分かりやすくご理解していただくため、ホール利用にかかるとの付帯料金を記した「ステージプラン」を用意し、新たなニーズの獲得に努めました。</p> <p>自主事業については、若林区にお住まいの皆様が地域活動の中心となる、地域に最も身近な施設であるということを念頭に置き、実施にあたってはホール等の諸室や旧レストランススペースの空き空間を有効活用する『アート・ギャラリー「わかぶん」』等を会場として開催し、市民の憩いの場であったり若林区の魅力アップを図る空間、或いは新たなつながりを創り出す空間となるよう展開し、地域の魅力発信、地域コミュニティの更なる発展につながるよう取り組みました。</p> <p>以上のとおり管理運営の業務を遂行することができたものと捉えております。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の運営管理体制においては、事業計画書等に定められたとおり施設運営を行っている。施設の貸出についても、条例等の規則に基づき、特に営利目的での使用か非営利かの確認は、利用申込時に電話等で確認を徹底し、利用者に公正・公平な施設の貸出を行うよう努めている。</p> <p>施設の維持管理については、併設機関と合同で実施する自主点検などに力を入れており、不具合を発見した箇所は、適切な対策を講じるよう関係機関に連絡するなど、良好に管理されていると評価できる。</p> <p>職員の窓口対応等のサービスについては、年に一度実施している利用者アンケートにおいて「お客様と職員はうまくコミュニケーションをとれているか」の項目に、9割近くが「とれている」との回答を得ており、利用者への対応が円滑に行われている。職員研修では、財団本部の研修のみならず、本市主催の研修にも意欲的に参加しており、サービスの質の維持・向上に努めている。また、利用促進の取組みとしては、潜在的な利用者に対し、附帯設備を活用したステージプランを提供し、新たな利用者獲得に努めている。</p> <p>自主事業としては、旧レストランススペースの空き空間を有効活用した事業を実施し、文化情報の発信、交流の促進となる場を提供しており、地域文化活動の振興と市民の文化の向上に努めている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：若林区まちづくり推進部まちづくり推進課